



つか まえ
使う前に

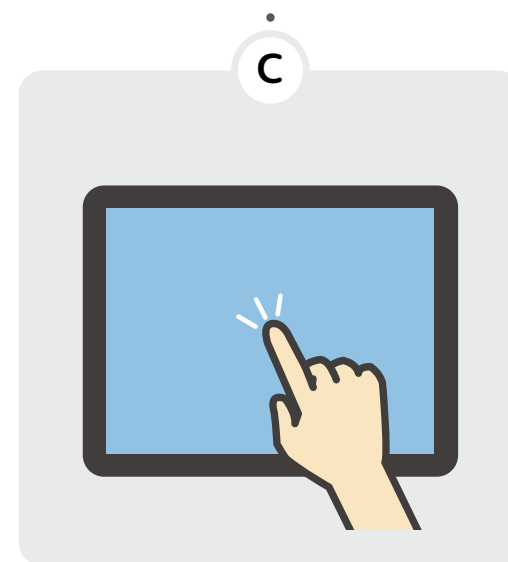
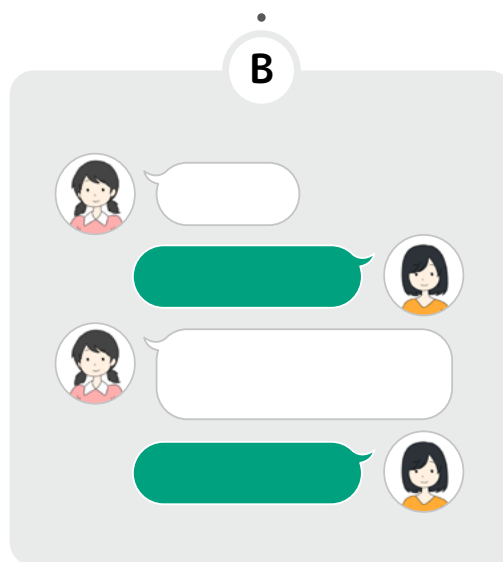
ここから、たんまつを^{つか}使^{がくしゅう}った学習がはじまります。

ここでは、たんまつを^{つか}使^{まえ}う前に知^しっておくべきことや^き気をつけておくべきことについて^{まな}学びます。

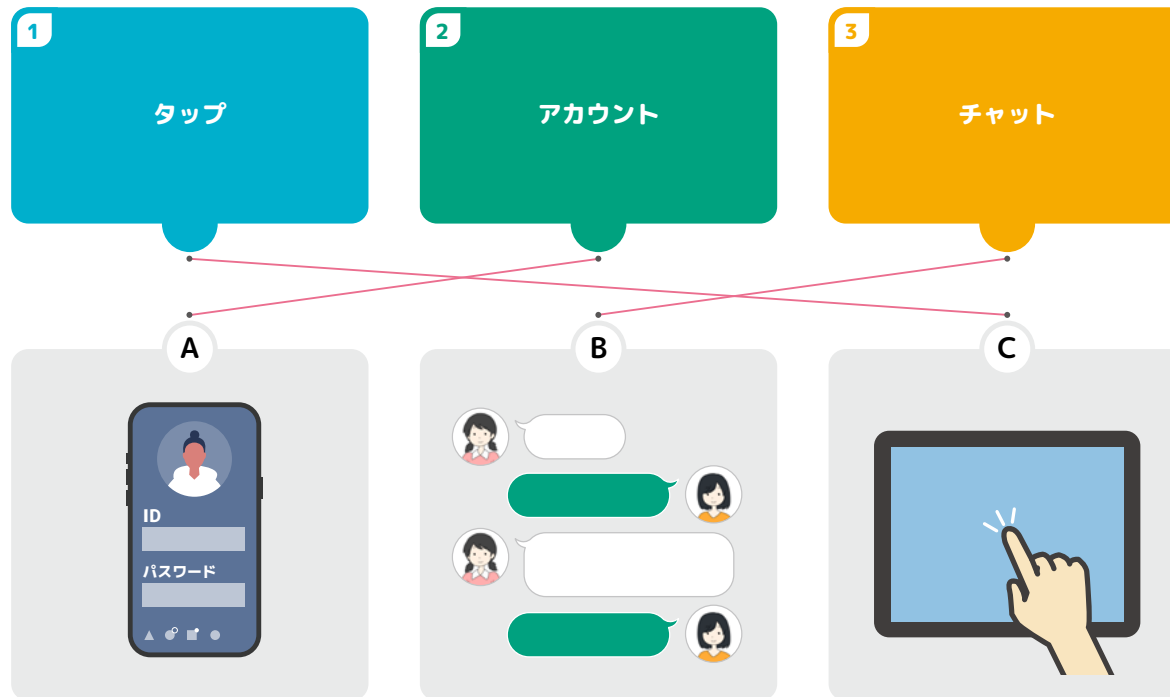
さいしょにチェックしてみよう

- ☐ わたしは、たんまつを^{つか}使^{ことば}うときの言^し葉を知^{おも}っていると思う
- ☐ わたしは、^{じぶん}自^{ほう}分^もに^じあ^{にゅうりよく}った方^{おも}ほうで文^{おも}字^{おも}を入^{おも}力^{おも}することができると思う
- ☐ わたしは、たんまつを^{たいせつ}大^{つか}切^{おも}に使^{おも}っていると思う
- ☐ わたしは、たんまつを^{つか}使^{おも}うときに「ぜったいにや^{おも}ってはいけないこと」がわ^{おも}か^{おも}る^{おも}と思う
- ☐ わたしは、よりよいパスワ^{つく}ード^{かた}の作^{つか}り^{かた}方^しや使^{おも}い^{おも}方^{おも}を知^{おも}っていると思う
- ☐ わたしは、たんまつの^{でん}じゅう電^{おも}をわ^{おも}す^{おも}れた^{おも}ことがない^{おも}と思う

これから、たんまつを使った学習がはじまります。
 上の1～3の言葉のせつ明として正しいものを、下の①②③の絵からえらび、線でつなげましょう。



せい
正かい



★ スキルのポイント

「タップ」とは、指で軽くさわることです。

「アカウント」とは、その人のことをはんだんするもので、家にたとえば住所のようなもの、「パスワード」とは家のカギのようなものです。パスワードはとても大切なものなので、人に教えないようにしましょう。

「チャット」とは、ネット上での文字だけのコミュニケーションのことです。

タブレットでは、いろいろな方ほうで文字を入力することができます。
 つぎ ことば じぶん ほう にゅうりよく
 次の3つの言葉を、自分にあつた方ほうでそれぞれ入力してみましょう。

1

おいしい

2

ごはん

3

がっこう

キーボードで

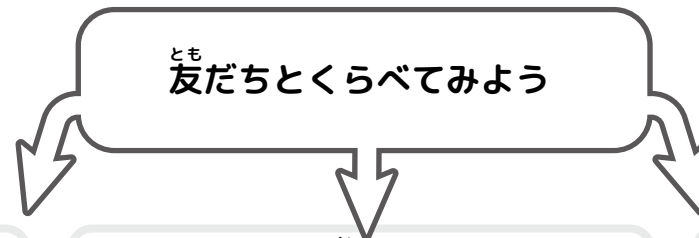


て が
手書きで



おんせい
音声で





キーボードで



て が
手書きで



おんせい
音声で



★ スキルのポイント

も じ にゅうりょく
文字の入カは、これからひつようなスキルになります。

じぶん にゅうりょく
自分にあつた方ほうで入カできるようにするとともに、ぜひキーボード入カに
もチャレンジしてみましょう。

れんしゅう じゅう
くりかえし練習することが重ようです。



つぎ
次の3つのことを^{じっ}実さいにやってみて、^{とも}友だちとくらべてみましょう。

1

たんまつを
「しずかに」
とじる

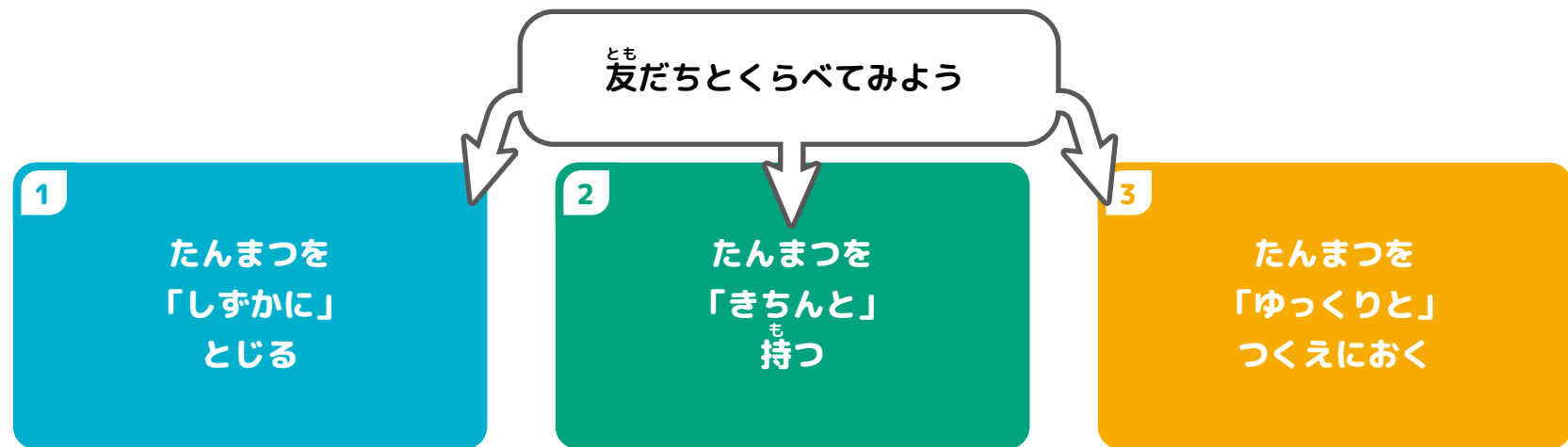
2

たんまつを
「きちんと」
^も持つ

3

たんまつを
「ゆっくりと」
つくえにおく





★ スキルのポイント

たんまつは、大切に^{たいせつ}使わ^{つか}ないとこわれてしまうことがあります。
もし、こわれてしまうと、しゅうりのために^{じかん}時間がかかり、みんなと同じようにたん
まつを^{つか}使えなくなることもあります。

たんまつを^{つか}使うときは、できるだけやさしくさわったり、しっかりと^{りょうて}両手で^も持ったり、
ゆっくりとつくえにおいたりすることを^{こころ}心がけましょう。



どのくらいあぶないのかな？

つぎ
次のことは、どのくらいあぶないでしょうか。

「やらないほうがよい」か「ぜったいにやってはいけない」に^わ分けてみましょう。

1

たんまつの^{うご}動きが
おそいので、少し^{つよ}強く
タップした

2

とも
友だちのたんまつの
勝手にログインした

3

きょうしつ とも
教室で友だちの^き着がえの
^{どうが}動画をこっそりとした

やらないほうがよい **A**

B ぜったいにやってはいけない

せい
正かい

やらないほうがよい A

1
たんまつの動きが
おそいので、少し強く
タップした

B ぜったいにやってはいけない

2
とも
友だちのたんまつに
勝手にログインした

3
きょうしつ とも
教室で友だちの着がえの
動画をこっそりとった

★ スキルのポイント

とも
友だちのたんまつに勝手にログインしたり、とも
友だちの着がえをこっそりとったりするこ
とは、はんざいなのでぜったいにやってはいけません。

すこし強くタップすることも、たんまつがこわれたりするおそれがあるので、できれば
やらないほうがよいでしょう。





パスワードの^{つく}作り方や^{かた}使い方^{つか}

パスワードにかんする^{こうどう}3つの^{もんだい}行動を、「○^{もんだい}問題はない」「×^{もんだい}問題がある」にわけてみましょう。

1

わすれないように、パス
ワードを^{じぶん}自分の^{じょうび}たん生日
(1215)にした

2

わすれるかもしれないの
で、^{とも}友だちにパスワード
を^{おし}教えた

3

^{とも}友だちがパスワードを
^{にゆうりよく}入力しているときは、
その^{ようす}様子を見^みないように
した

○^{もんだい}問題はない A

B ×^{もんだい}問題がある



正しい

○ 問題はない A

3 友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにした

× 問題がある B

1 わすれないように、パスワードを自分のたん生日(1215)にした

2 わすれるかもしれないので、友だちにパスワードを教えた

★ スキルのポイント

パスワードを自分のたん生日にしてしまうと、ほかの人に簡単に予想されてしまいます。

パスワードは、他の人が簡単に予想できないようにして、だれにも教えず、もし友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにしましょう。



でん じゅう電できていないのは

いえ も
家から持ってきたたんまつが、じゅう電できていませんでした。
つぎ なか
次の中から、自分が一番 じぶん いちばん やってしまいそうなことをえらんでみましょう。

1

あさ がっこう
朝、学校のしたくをした
でん
ので、じゅう電できな
かった

2

でん
あとでじゅう電しようと
おも わす
思って忘れてしまった

3

でん
じゅう電するひつようが
おも
ないと思っていた

4

かぞく でん
家族がじゅう電してくれ
おも
ていると思っていた

5

でん
じゅう電できていると
おも
思っていたら、コンセン
トにささっていなかった

とも
友だちとくらべてみよう

1

あさ がっこう
朝、学校のしたくをした
ので、じゅう電^{でん}できな
かった

2

あとでじゅう電^{でん}しようと
おもわす
思っ^{おも}て忘れてしまった

3

じゅう電^{でん}するひつようが
ないと思^{おも}っていた

4

かぞく
家族がじゅう電^{でん}してくれ
てい^{おも}と思^{おも}っていた

5

じゅう電^{でん}できていると
おも
思^{おも}っていたら、コンセン
トにささっていなかった



スキルのポイント

たんまつがじゅう電^{でん}できていないと、がっこうでつかうことができずにこま^{こま}困ってしまいま
す。

「どんなときにじゅう電^{でん}できていないのかな」とじぶん^{じぶん}自分がやってしまいそうなことを
そうぞう想像してみましよう。





つか まえ
使う前に

まとめ

じょうず つか 上手に使うために

たんまつは、^{つか}使おうと思えば、^{おも}学習だけでなく^{がくしゅう}遊びにも^{あそ}使えてしまいます。

「なぜ、たんまつが^{はい}配^りふされているのか」、その^{りゆう}理由を^{かんが}考えながら、たんまつを^{ゆう}有^{つか}こうに^{めい}使^{つか}っていきましょう。

チェックしてみよう

- ☐ わたしは、たんまつを^{つか}使うときの^{ことば}言葉を^{めい}せつ明^{めい}することができる
- ☐ わたしは、^{じぶん}自分にあ^{ほう}った方^もほうで^{にゅうりよく}文字^もを入力^{にゅうりよく}することができる
- ☐ わたしは、たんまつを^{たいせつ}大切に^{つか}使うことができる
- ☐ わたしは、たんまつを^{つか}使うときに「ぜ^{つか}ったいに^{めい}や^{めい}ってはい^{めい}けないこと」を^{めい}せつ明^{めい}することができる
- ☐ わたしは、よりよいパスワードの^{つく}作り^{かた}方や^{つか}使い^{かた}方を^{めい}せつ明^{めい}することができる
- ☐ わたしは、たんまつの^{でん}じゅう電^{でん}を^{でん}わすれ^{でん}ないように^{でん}く^{でん}ふう^{でん}することができる